

第2期千葉市国民健康保険データヘルス計画（概要版）



I 基本的事項 (P 1)

本計画は、国民健康保険の保険者である千葉市が、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るために、特定健康診査（以下、特定健診）や診療報酬請求明細書などのデータ分析の結果に基づき、保健事業の実施計画を定め、PDCA サイクルに沿って運用するものです。計画期間は、2018年度から2023年度までの6年間とし、「データヘルス計画」と「特定健康診査等実施計画」を合わせた計画とします。

II 現状の整理と課題の明確化 (P 3)

7つの視点で分析し、「課題となる疾患」と「健康課題」を明らかにしました。

被保険者の年齢構成

- 70～74歳の構成比率が増加傾向、60歳以上が5割を上回る。
- 60歳以上は国保加入から他医療保険への異動までの年数が長い。

市民の死因

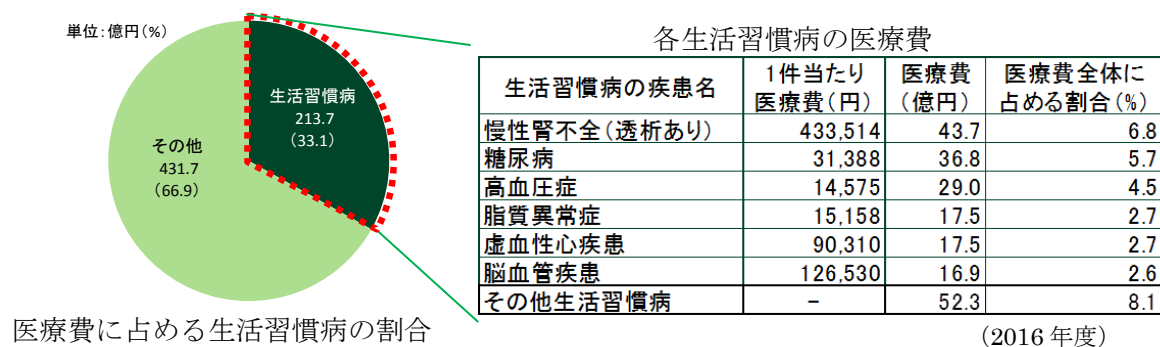
- 国や政令市平均と比較して、心不全、心疾患、肺炎が多い。

介護給付費と医療費

- 要介護度が上がるにつれて介護給付費、医療費とも増加。
- 要介護5の有病率は、心臓病、精神疾患、筋・骨疾患、脳疾患、糖尿病が高い。

生活習慣病の医療費、患者数

- 医療費に占める生活習慣病の割合は3割を超える。また、年齢が高くなるにつれて生活習慣病の割合は増加し、65歳以上では約4割に達する。
- 生活習慣病の医療費のうち上位6疾患を合わせると、医療費全体の4分の1を占める。



課題となる疾患

【基礎疾患】

- 高血圧症
- 糖尿病
- 脂質異常症

【重症化疾患】

- 慢性腎不全(透析あり)
- 虚血性心疾患
- 脳血管疾患

特定健診実施状況

- 受診率は30%台中盤にとどまる。
- 通院している方、他の健診を受けている方を受診につなげられていない。
- 地域によって受診率に差がある。
- 健診の結果、服薬していない方の約18%が、高血圧、糖尿病、脂質異常等で医療機関への受診が必要な検査値である。
- 特定健診の結果、医療機関受療中で血糖値が高く、腎機能が低下している方のうち、65%が生活習慣の改善等が十分されていない。

受診しない理由(n=3,039)

- 通院中または治療中: 2,141 (70.5%)
- 必要がない: 328 (10.8%)
- 時間がない: 277 (9.1%)
- その他: 293 (9.6%)

特定保健指導実施状況

- 実施率が13.3%と低く、20政令市中11位である。
- 積極的支援を利用途中でやめる方が多い。
- 動機付け支援を利用する方が少ない。
- 体重や腹囲の減少には効果が見られる。

特定保健指導の利用率及び実施率 (2016年度)

特定保健指導の終了者と未終了者の翌年度体重変化比較 (2015年度特定保健指導、2016年度特定健診)

健康課題

課題1 特定健診受診率が30%と低く、**被保険者の健康状態を把握できていない。**

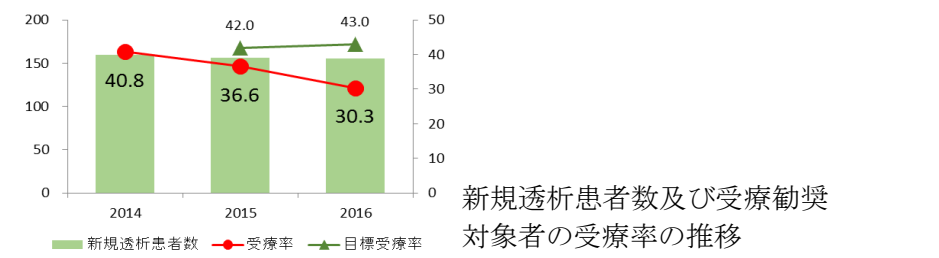
課題2 特定保健指導実施率が13.3%であり、20政令市中11位と低く、**生活習慣病発症リスクが高い対象者に保健指導ができていない。**

課題3 特定健診の結果、医療機関受療中で血糖値が高く、腎機能が低下している方のうち、**65%が生活習慣の改善等が十分されていない。**

課題4 特定健診の結果、服薬していない方の18%は、高血圧、糖尿病、脂質異常症等で医療機関での受療が必要であるが**受療行動をとる方が30%と少ない。**

第1期計画に基づく保健事業の実施状況

- 受療勧奨対象者の受療率は低下を続け、30%まで低下している。
- 前年度と同様の取組では、評価指標の継続的な改善は困難。
- 特定健診において生活習慣病のリスクがあると判定された方が、健診結果や健康上のリスクを理解し必要な行動をとれていない。



Ⅲ 目的・目標 (P38)

計画目的：被保険者が、高血圧、糖尿病、脂質異常症の発症・重症化を予防することができる。

計画目標：①高血圧値の改善、②血糖コントロール不良者の割合の減少、③脂質異常症の減少、

④特定健康診査の受診率の向上、⑤特定保健指導の実施率の向上、⑥新規人工透析患者数の減少

「健康課題」と「課題となる疾患」を踏まえて計画目的・目標と事業目的・目標を設定しました。

事業名	事業目的	事業目標	対策
特定健診	被保険者が定期的に自身の健康状態を把握し、生活習慣病を予防するために必要な行動をとる。	・ 特定健診受診率の向上 ・ 他健診受診者、受療中の方の健康状態把握	①未受診者勧奨、②継続受診の促進、 ③データ取り込みの環境整備【新規検討】、④集団健診実施【新規検討】
特定保健指導	特定健診を受け特定保健指導の対象となった方が、生活習慣の改善により体重または腹囲が減少し、特定保健指導の対象ではなくなる。	・ 特定保健指導の利用率向上 ・ 特定保健指導の終了率向上 ・ 特定保健指導の質の維持・向上	⑤特定保健指導利用勧奨、⑥積極的支援の民間委託、 ⑦動機付け支援の民間委託【新規検討】、⑧特定保健指導の研修会【新規】
生活習慣病の重症化予防	医療機関での受療が必要な方や、糖尿病等で既に受療中の方が、自身の健康状態を理解し、生活習慣病の重症化予防のために必要な行動をとる。	・ 受療勧奨対象者の受療率向上 ・ 事業参加者が、人工透析導入に至らない	⑨受療勧奨、 ⑩糖尿病性腎症重症化予防【新規】

従来から実施している5つの対策は前データヘルス計画個別事業評価に基づき改善しながら実施し、新規事業については下記のとおり実施する。

Ⅳ 保健事業の実施内容 (P43)

新規対策のスケジュール

第2期計画から新規実施する対策を策定しました。

■実施検討 ■モデル実施 ■本格実施

事業名	対策	2018	2019	2020	2021	2022	2023	事業内容
特定健診	データ取り込みの環境整備	■	■	■	■	■	■	特定健診以外で健診・検査を受けている方の健康状態・生活習慣データを取り込むための環境を整備する。
	集団健診実施	■	■	■	■	■	■	健診医療機関数が少ない等により特定健診受診ができていない地域を対象に、集団健診を実施する。
特定保健指導	特定保健指導機関の拡大(動機付け支援)	■	■	■	■	■	■	動機付け支援の委託先を医療機関以外の民間事業者に拡大し、通信による効果的な支援や休日実施などの利便性を高める。
	特定保健指導の研修会	■	■	■	■	■	■	委託医療機関に研修を実施することにより、特定保健指導の質を高め利用者の健康の保持、増進につなげる。
生活習慣病の重症化予防	糖尿病性腎症重症化予防事業	■	■	■	■	■	■	糖尿病が重症化しないようかかりつけ医と連携し、対象者に保健指導を実施する。

Ⅴ データヘルス計画の評価・見直し (P47)、Ⅵ 第3期千葉市国民健康保険特定健康診査等実施計画 (P50)

具体的な目標値を定め、PDCAサイクルに沿って行います。

右表の目標値を達成するために、従来の対策、新規対策をPDCAサイクルに沿って実施・評価・改善・計画を繰り返しながら実施します。

● 毎年度評価

各個別事業評価に基づき必要な修正があった場合は、毎年度策定する個別事業計画に反映させます。

なお、評価にあたっては保険者が評価したものについて、千葉県国民健康保険団体連合会 保健事業支援・評価委員会から助言を受けるとともに、千葉市国民健康保険運営協議会に報告を行います。

● 中間評価

2020年度に、2019年度までの個別事業評価、計画全体の評価に基づき必要に応じて本計画の見直しを図ります。

● 計画終了年度の評価

2023年度に、2022年度までの個別事業評価、計画全体の評価に基づき第3期データヘルス計画を策定します。

目標値 (評価指標)	対象	2016 (現状)	2023
①高血圧値の改善 (収縮期血圧の平均値の改善) ※	男性	130.1mmHg	129.4mmHg
	女性	127.3mmHg	126.6mmHg
②血糖コントロール不良者の割合の減少 (HbA1cが8.4%以上) ※	40-64歳	0.91%	0.77%
	65-74歳	0.65%	0.51%
③脂質異常症の減少 (LDLコレステロールが160mg/dl以上の人の割合減少) ※	男性	9.7%	7.6%
	女性	15.2%	10.3%
④特定健康診査の受診率の向上※※	40-74歳	36.2%	47.0%
⑤特定保健指導の実施率の向上※※	40-74歳	13.3%	24.0%
⑥新規人工透析患者数の減少	40-74歳	155人	減少

※健やか未来都市ちばプランと整合性をはかり、国民健康保険被保険者の目標値を設定。
※※第3期千葉市国民健康保険健康特定健康診査等実施計画に基づき設定。